

第 19 回 JOMF 海外医療情報交換会を東京で開催

2017 年 10 月 20 日(金)、学士会館 202 号室において、海外医療情報交換会が開催されました。ゲストスピーカーとして丸の内総合法律事務所 弁護士 中野明安先生をお招きし、「海外派遣に関わる企業の安全配慮義務」について講演いただき、東京医科歯科大学大学院口腔疾患予防学分野教授 品田佳世子先生には、昨年から当基金と共同研究として行っている「海外に在住する日本人小児の口腔保健および生活習慣に関する調査より」についての報告をいただきました。

【来場者】

総数 108 名が参加。うち、医療職の方々が 59 名、企業人事総務・海外部門の方々は 49 名。報告・講演の概要は下記の通り;

【拠点医報告・JOMF海外巡回健康相談について】

1. マニラ日本人会診療所 菊地宏久先生 (右写真)

診療所の臨床報告、日本との薬の違い(供給の不安定さ、入手できない薬について)および点滴の違い(日本とは位置が違うため、点滴中は手が洗えない)など文化の違い、出張者も含む派遣者の健康状態についての派遣元企業へのお願い、病院という場所における医療者の行動などのこぼれ話も含めて幅広いお話をいただきました。フロアからは輸血についての質問がありました。



2. シンガポール日本人会クリニック 日暮浩実先生(右写真)

日本人会クリニックの活動報告、ジカウイルスとデング熱の最近の傾向との政府の対応、入院費を例にシンガポールの医療制度・医療費について具体的な解説をいただきました。フロアより、日本脳炎予防接種について、結核についての質問がありました。



3. シンガポール日本人会クリニック 心療内科 日暮真由美先生



日本人会クリニック 心療内科の活動報告では、赴任者の奥様の症例が紹介されました。初めての海外生活により心の健康状態が崩れるケースはよくあるケースで、これに加えて近年増加している例がいくつかあげられました。予想外の海外生活となり他の日本人とのおつきあいの中で疲弊、仕事をやめたことによるストレス、仕事をやめたかたところに海外赴任となり都合良く退職できたが赴任してみると専業主婦があわない、子どもが自閉症で日本とは違うサポートが全くない状況で受診に至った等の症例が報告されました。

4. 「海外に在住する日本人小児の口腔保健および生活習慣に関する調査より」

東京医科歯科大学大学院口腔疾患予防学分野教授 品田佳世子先生

2016 年度の巡回健康相談会で東京医科歯科大学と JOMF の共同プロジェクトとして実施した調査活動の分析報告を伺いました。「住環境」「子育て」「教育」をはじめとする複数の項目について、海外生活での充実度を日本との比較から数値化することにより、各地の傾向が把握できました。現地



生活への不安に対する対応、今後の医療者に求められる対応についての展望を述べられました。貴重な記述が多いアンケートであり、現在も引き続き行われております。

【ゲストスピーチ】

「海外派遣に関わる企業の安全配慮義務」

丸の内総合法律事務所 弁護士 中野明安先生

西新橋クリニック院長の大越裕文先生に座長を務めていただきました。

安全配慮義務に関わる、海外勤務者の雇用形態の多様なケースについて、判例も紹介しながら解説頂きました。今回は事前質問を受け付けるところ、非常に多くのご質問をいただき、皆様の関心の高さのほどが伺えました。



ご参加の皆様、ありがとうございました。

なお、12月7日(木)、15:30～(於大阪商工会議所)中野明安先生をメイン講師に、大阪バージョンの報告会を行います。

関西地区の方、東京で都合がつかなかった方、もう一度聞きたい方もぜひご出席ください。

お申し込みは申込みコーナー または 事務局まで。

- ・ 第33回特別企画セミナー（大阪）詳細

<http://jomf.or.jp/pdf/2017/11/626/20171207seminarosaka.pdf>

- ・ 第33回 特別企画セミナー参加申込コーナー

<https://jomf.or.jp/event/index.php?eid=27>

- ・ JOMF 事務局

TEL : 03-3593-1001、 e-mail : seminar@jomf.or.jp



懇親会の様子